

普通騒音計NL-27

簡易操作手順書



諫早市学校薬剤師部会作成

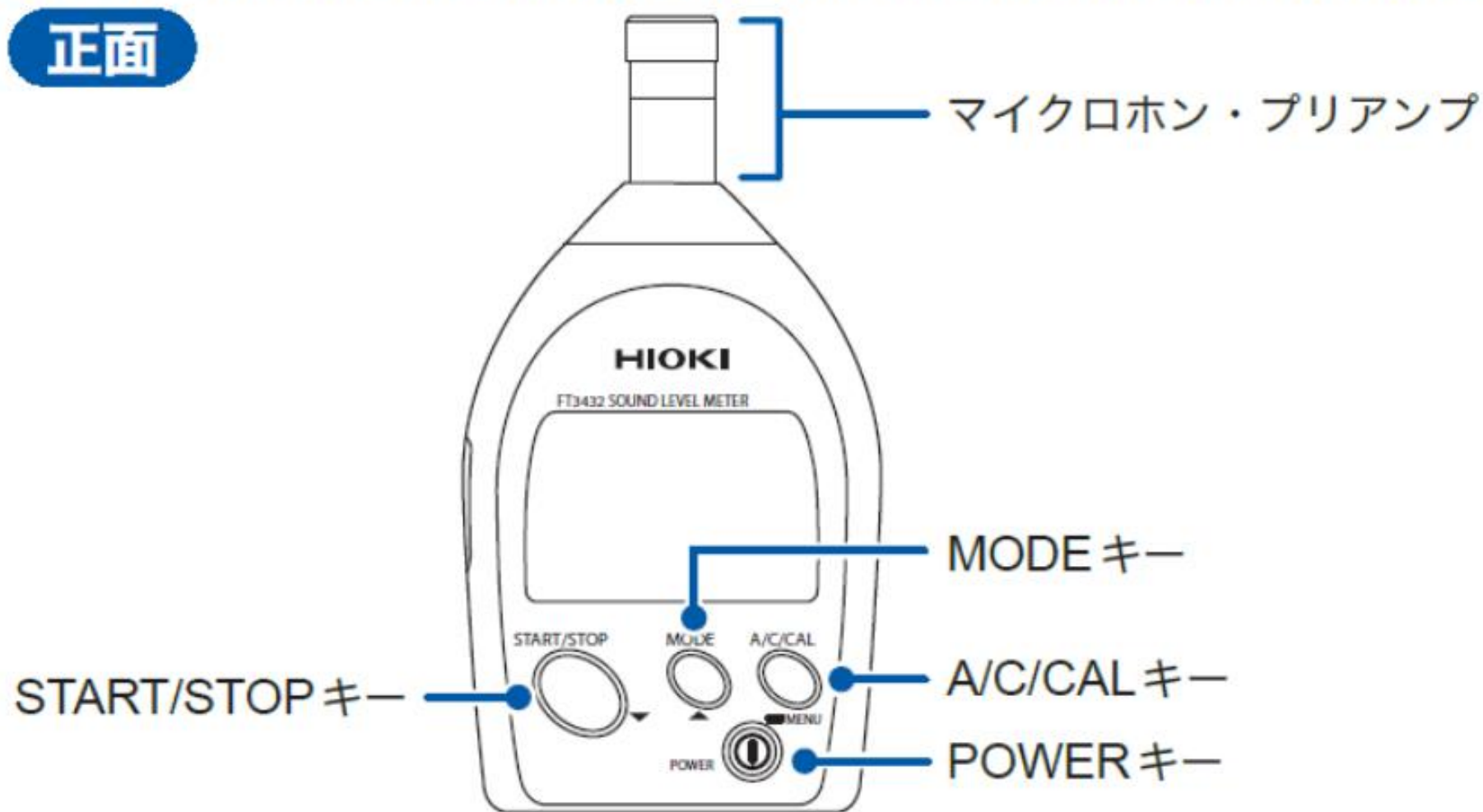
2023.5

基本的な設定はしていますので、記載されたこと以外はしないようにしてください。

もし、設定などを変更してしまったときは薬剤師会事務所にご持参ください。

各部の名称と機能

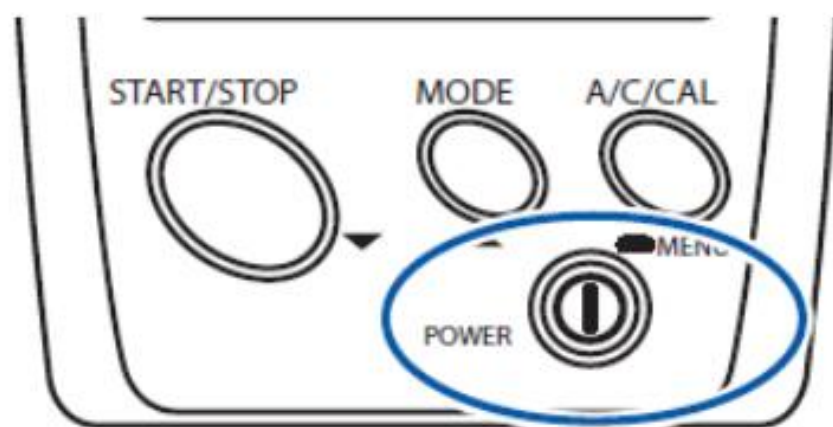
正面



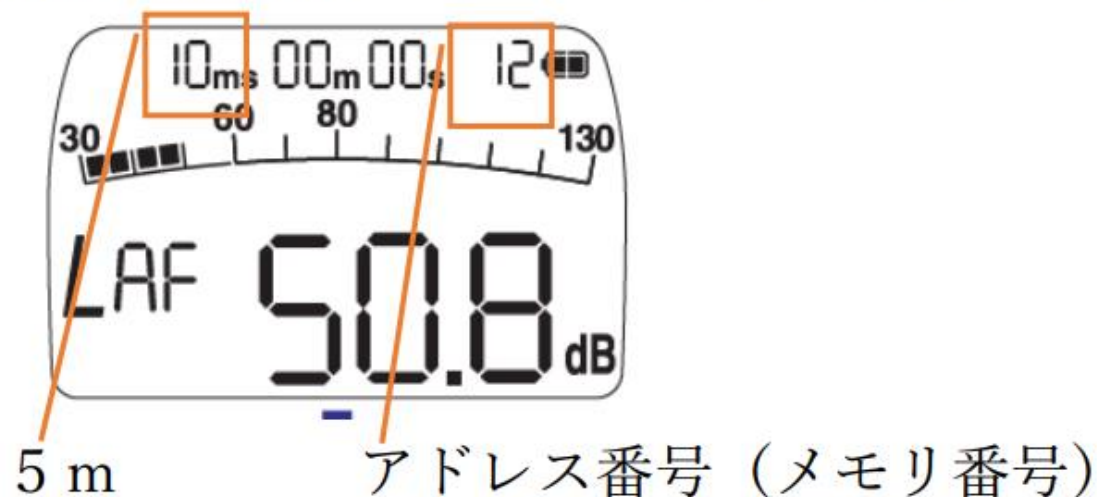
ウインドスクリーン（スポンジキャップ）をマイクの先につけてください。

電源を入れる

POWER キーを0.5秒以上押すと電源が入ります。



画面表示は下記のようにになっています。

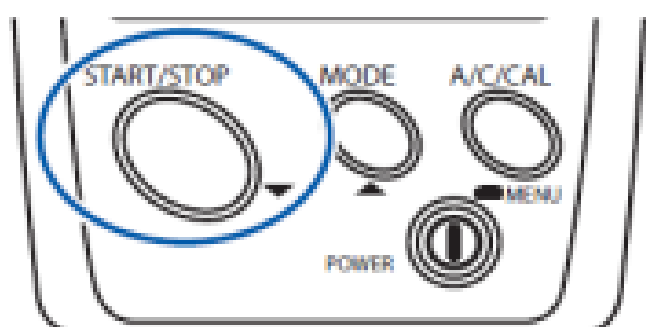


START キーを押して測定を開始します。

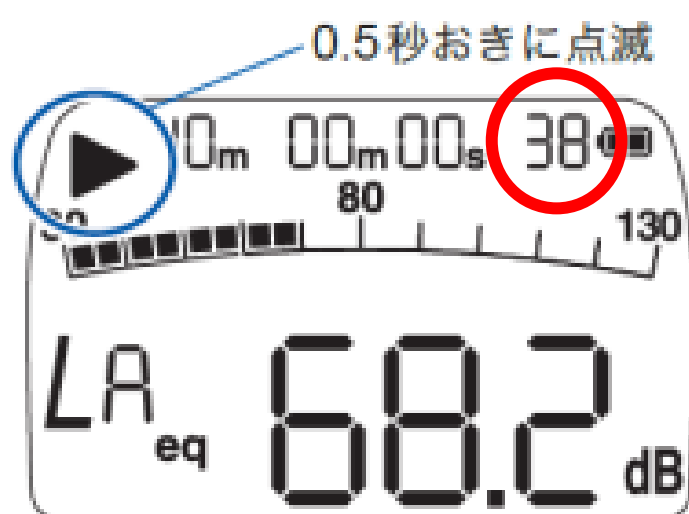
設定していますので、5分経ったら自動で止まります。

測定を開始する

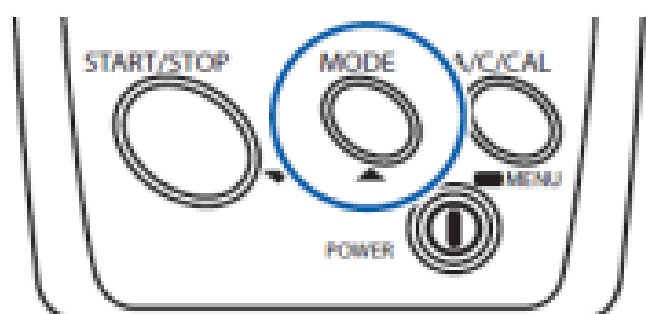
- 1 START/STOP キーを押します。



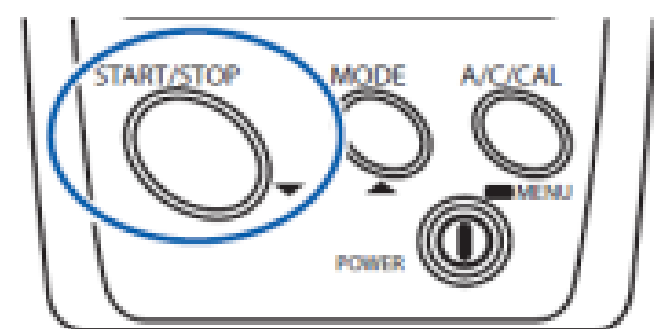
- 2 測定 (演算) を開始すると、演算中マークが点滅します。



測定 (演算) 中に MODE キーを押すと、そのときまでの演算値 (p.9) に切り替えることができます。



- 3 測定設定時間が経過するか、START/STOP キーを押すと、測定 (演算) を終了します。



測定後の画面はアドレス番号が 1 つ繰り上がっていますが、表示されているのは自分が測定したものです。 測定終了後、自動で保存されています。



測定中に表示されている数字がデータ番号です。



演算データの保存

演算が終了すると演算値が自動的に保存され、アドレス番号が1つ繰り上がります。

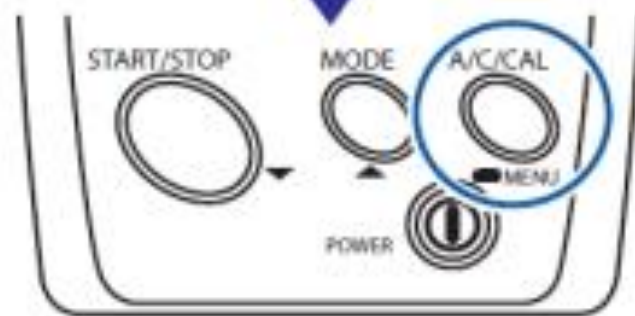


あとで保存したデータを見る方法です。

保存されたデータを見る

- 1 測定画面 (周波数重み特性A) で **A/C/CAL** キーを4回押します。

測定画面 (周波数重み特性A)



- 2 保存データ呼び出し画面が表示されます。
最後に保存された演算値が表示されます。

測定設定時間 測定経過時間 アドレス番号



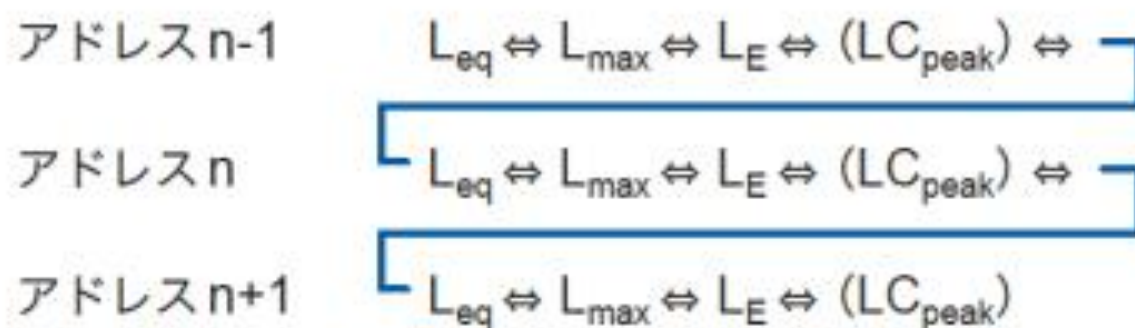
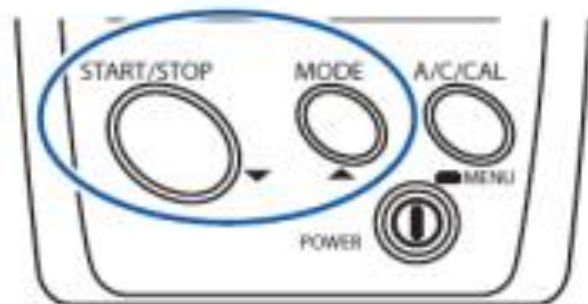
電池残量表示

保存データ呼び出し画面であることを示します。

レベルレンジ目盛 (バーグラフは表示されません)

測定値
(測定値が保存されていない場合は、「—」を表示します)

3 START/STOPキー、またはMODEキーを押すと、表示されるデータが次のように切り替わります。



記号	画面表示	説明
L_{eq}	LA_{eq} , LC_{eq}	時間平均サウンドレベル (等価騒音レベル)
L_{max}	LAF_{max} , LAS_{max} , LCF_{max} , LCS_{max}	サウンドレベルの最大値 (騒音レベルの最大値)
L_E	LA_E , LC_E	音響暴露レベル (単発騒音暴露レベル)
LC_{peak}	LC_{peak}	C特性ピークサウンドレベル (LC_{peak} はピークレンジのときのみ)



**LAeqの値
を検査票に
記載**

アドレスを早送りするとき

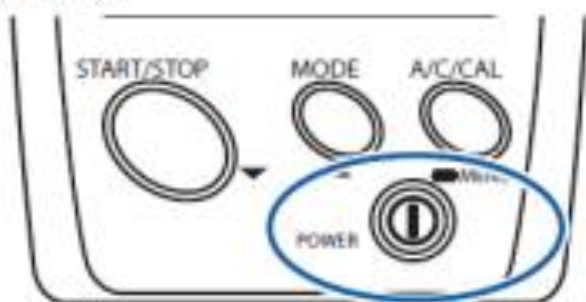
START/STOPキー、またはMODEキーを長押しすると、アドレスが早送りされます。

---⇄アドレスn-1⇄アドレスn⇄アドレスn+1⇄---

終了したら電源を切って、箱に保管して下さい。

電源を切るとき

画面表示されているときに、POWERキーを0.5秒以上押すと電源が切れます。



**検査終了後
は必ず電源
を切ってください。**

何も操作しないしていると 10 分でスリープ状態になります。「SLP」と表示されていますが電力は消費しているので使用後は電源を切って下さい。

測定時には事務所より三脚をお貸ししますのでそちらに取り付けてから測定されてください。

測定位置は、教室の前後から中ほどで、窓・廊下からそれぞれ1～1.5m程度離れたところ。騒音計のマイクロホンの位置を床上1.2mに置くのが標準で、測定点の決定はそれぞれの学校の実態で決めてください。

参考資料

一社) 宗像薬剤師会学薬委員会資料
リオン株式会社 NL-27 簡易操作手順書